

Thank you for visiting!



8月9日（木）から8月17日（金）までの9日間、姉妹都市盟約を結ぶ米国オレゴン州フッドリバー市から訪問団 12 人が来町しました。

8月9日（木）の夜、訪問団を乗せたバスが鶴田町役場に到着し、相川町長やホストファミリー、フッドリバー市民と親しくする会など、たくさんの町民が出迎えました。

10日（金）、11日（土）はつるたまつりに参加し、龍巻寿司やねぶた合同運行、盆踊りなどを楽しんでいました。

12日（日）には、国際交流会館で歓迎会が行われました。歓迎会では、今年3月にフッドリバー市を訪問した第34回中学生大使の新井希寧さんと下山紗嬉さんが「鶴田町でのホームステイを楽しんでください」と歓迎の言葉を贈ると、訪問団を代表してショーナ・カーターさんが「歓迎してくださりありがとうございます。国際交流は、距離や言語に関係なく、友情を育むことができること、文化が異なっても根本的には同じであること教えてください」とあいさつしました。また、訪問団の生徒を代表してエイデン・クロスさんは、「日本の文化を経験し、いろいろな食べ物に挑戦し、日本語を学ぶのが楽しみです。鶴田町の皆さんの温かい歓迎や、日本の文化を学ぶ機会を与えられたことがとても光栄です」とあいさつ。クローイ・カーターさんは「今年の3月に3人の中学生大使のホストファミリーをしました。その経験もあり日本の文化がとても好きになりました。日本で今まで見たことのない景色や感動を味わえることを楽しみにしています」とあいさつ。相川町長は、「鶴田町で思い出をたくさん作ってほしい。両市町の友好の輪をさらに広げていきたい」と歓迎のあいさつを述べ、訪問団に名誉町民証と記念品が贈呈されました。その後、第34回中学生大使による、フッドリバーを訪問した時の体験発表や、鶴田町太鼓の会による和太鼓や五つ太鼓の演奏が行われました。生で見る太鼓の演奏に、訪問団はくぎ付けになり、和太鼓の体験にも興味深そうに参加していました。

滞在中には、町内施設の見学や、中学生との交流も行われました。15日（水）は、町役場庁舎内や消防署を見学し、その他、歴史文化伝承館や道の駅つるた、富士見湖パークの見学も行きましたが、鶴の舞橋には特に感動しており、橋の上から、津軽富士見湖や飛来してくる野鳥などを眺めていました。また、軽スポーツ交流として、ドッジビーやバスケットボールなどさまざまなスポーツを通して、ホストファミリーやジュニアリーダーの方々と交流を深めていました。16日（木）には、中学生との交流が行われ、町武徳館で剣道部活動の見学、体験が行われました。最初は、初めて見る迫力のある発声や、竹刀で胴着に打ち込む音に驚いていた訪問団でしたが、竹刀を握り剣道を体験すると真剣な表情で取り組んでいました。その後鶴田八幡宮に向かい、神妙な面持ちで御神火の神事に参加。たいまつを持ち鶴の舞橋を行進し、津軽富士見湖で打ち上げられた花火を楽しんでいました。



△盆踊りを楽しみ日本の文化に触れました



△子どもたちとドッジビーで交流を深めました



△剣道の見学や体験で中学生と交流



△歓迎会で初めての和太鼓演奏を体験しました



△歴史文化伝承館で日本の道具に触れました